

2004 年度マクロ経済学の基礎 中間点テスト

問題 1 ケインズ経済学と新古典派経済学の違いについて述べよ。(20 点)

問題 2 (10 点)

ある国にゴム産業、タイヤ産業、自転車産業しかないとする。自転車の生産、タイヤの生産、ゴムの生産に分けて棒グラフを 3 本書き、各産業の付加価値、中間投入が棒グラフのどの部分になるかを図示せよ。ただし、各産業の付加価値、中間投入は次の値になるとする。

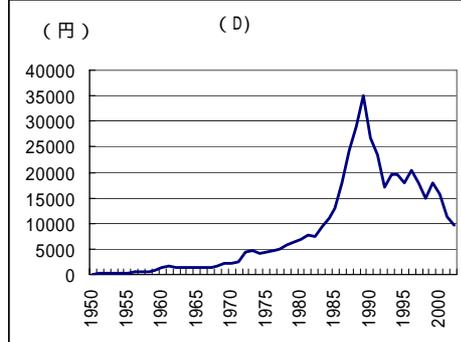
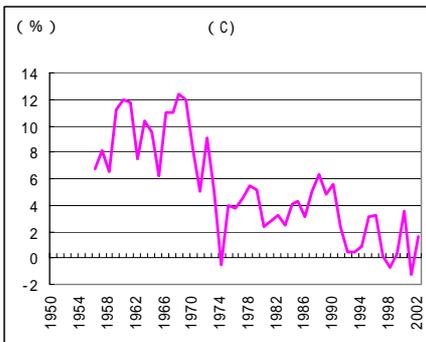
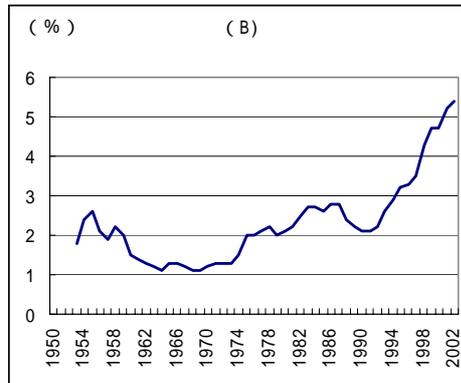
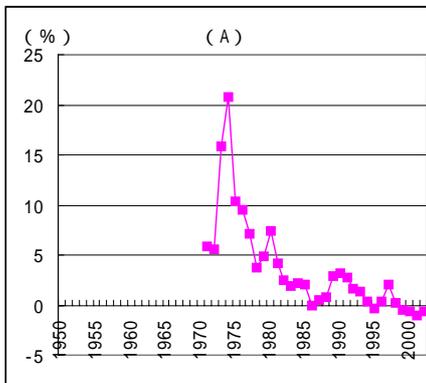
	中間投入	付加価値
ゴム産業	ゼロ	40 万円
タイヤ産業	40 万円	60 万円
自転車産業	100 万円	70 万円

問題 3 (10 点)

国内総生産、国内純生産、国民所得の関係を図示せよ。

問題 4 次のグラフは何のデータを表すか。次の中から選んで答えよ。(5 × 4 = 20 点)

日経平均株価、実質 GDP 成長率、失業率、消費者物価上昇率、対ドル円レート、長期金利



問題5 (5×4=20点)

国民経済計算の諸概念について以下の値が与えられている。

最終消費支出 250 総固定資本形成 120 在庫品増加 10
財・サービス輸出 60 財・サービス輸入 40 固定資本減耗 10
間接税 - 補助金 20 海外からの要素所得の受取 20
海外からの要素所得の支払 10

- 国内総生産 (A)
- 国内純生産 (B)
- 国民所得 (C)
- 国民総生産 (D)

問題6 (5×2=10点)

2001年の実質GDPはいくらになるか。ケースA、ケースBの場合それぞれ計算せよ。ただし、名目GDP、実質GDPは次の式に従うとする。

(ケースA) 生産量は変わらず、価格だけ上がった場合

	名目GDP P	実質GDP P	GDPデ フレーター -	リンゴの 生産量 (個)	価格(円)
2000			1.0	10	100
2001				10	150

(ケースB) 生産量が変わらず、価格だけ下がった場合(デフレ)

	名目GDP P	実質GDP P	GDPデ フレーター -	リンゴの 生産量 (個)	価格(円)
2000			1.0	10	100
2001				10	50

問題7 (10点)

「どのような質問をするかで、その人がその事柄を理解しているかどうか分かる」と言われています。そのことを踏まえた上で、授業を聞いていて疑問に思ったことを書いてください。(疑問が何も無いというのは、全部わかっているというより、まったくわかっていない可能性のほうが高いので0点)